

今こそ！笠間育ち⑤

安心、新鮮、おいしいを支える地元農業の紹介コーナー。
食の安全が第一に求められ、農産物への関心もますます高まる
今こそ、地元農家の実力発揮のとき！



◀菅谷栄寿さん (泉) 左・
上野忠夫さん (湯崎) 右

栽培を始めて、菅谷さんは30年、上野さんはなんと50年！笠間のなし栽培に深く携わるお二人です。ともに約2畝ものなし畑に、幸水、豊水などの品種を栽培しています。農業生産資材の値上がりもあり、栽培の大変さはもちろんありますが、品質を最高のものにしようと栽培に力を注いでいます。



▲青々と葉を繁らす果樹園
(おいしいなしの見分け方)

形がよく果皮に張りがあり、同じ大きさのものなら重みがあるものおいしいそうです。皆さんも、地元のなしを、ぜひ、どうぞ。
(*)国の法律に基づいて、土づくり、化学肥料・化学農薬低減に取り組む、茨城県の認定を受けた農業者。



このコーナーで紹介された農産物については、本所農政課(内線525)にお問い合わせください。

笠間のなし

みずみずしく、さっぱりとしたなし。これからの季節、食卓に上ることも多いでしょう。笠間市では、なし農業者の34名がエコファーマー(*)を取得し、特に、岩間地区は青果物銘柄推進産地に指定されているほど、なし栽培が盛んに行われています。(栽培面積46%、収穫量802ト) ※平成18~19年茨城農林水産統計年報)

出荷まであと約40日 (幸水) ▶

(笠間市の平均な収穫時期と特徴)

8月中旬~下旬 幸水 日本なしの代表格。果肉は柔軟で多汁。

9月中旬~下旬 豊水 日持ちがよく、甘みの中に適度な酸味。

9月下旬~ あきづき 酸味が少なく、果肉は柔軟で多汁。(茨城県の奨励品種)

10月上旬~ 新高 酸味が少なく、みずみずしく風味豊か。

市民憲章

わたしたち笠間市民のねがい ~笠間市民憲章~

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう
健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう
歴史と文化を大切にし、豊かでうるおいのあるまちにしよう
思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう
きまりを守り、安心でやすらぎのあるまちにしよう

平成19年1月1日制定

【広報ギャラリー】市民の皆さんの作品を募集しています

「広報かさま」では、絵画・書道・俳句・短歌・写真・イラストなど、皆さんのお気に入りの作品を紹介しています。住所・氏名(ペンネームの場合、本名も併記)を記入してお送りください。

申込み・問合せ先：〒309-1792 笠間市中央3-2-1 笠間市役所市長公室秘書課 広報広聴グループ(内線224)

人口と世帯数(常住人口7.1現在)

| | |
|------|----------------------|
| ●人口 | 80,512人(-1人) |
| ●男 | 39,382人(-6人) |
| ●女 | 41,130人(+5人) |
| ●世帯数 | 27,939世帯(+12世帯(前月比)) |

○広報かさまに掲載されているあなたの写真を差し上げます。お問合せは秘書課(内線225)まで。



再生紙を使用しています。

○市ホームページモバイル版では、行政・災害などのさまざまな情報をお届けしています。アドレス
<http://www.city.kasama.lg.jp/mobile/>

